**現場の週報から（令和5年2月6日～3月3日）**

**【２月６日～２月12日】**

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：大嶋貴子さん

・コロナ禍となってから、帰りのレクリエーションはテーブルごとに静かにプリント…となっていましたが、2/11はOさんの発案で、換気とマスクをしっかりした上で久しぶりに以前のように集まってゲームを行いました。内容もOさん発案でしたが、こまごましたやり方は以前通所のアンケートで「高齢者向けのゲームが多い」と書かれていたご利用者に相談し、参加者側ではなく企画者側としてアドバイスいただきみんなで考えました。とても盛り上がり、普段お一人で過ごされることの多い方もみんなの前に出てニコニコと取り組む姿に、今後の展開が楽しみになりました。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・普段すごく控えめのFさん。ドライブに誘っても、お買い物に誘っても、景色をみに誘っても、あんまり乗り気でないし、Fさんは何が好きなんだろう、何をしたいんだろう、常々思っていました。色々とお話を伺うと、仕事ばかりで休みの日に何かするとか、出掛けるとかあまりなかった、と。我慢我慢の昭和初期生まれのFさんと私達では少し感覚が違うのかも？　何かFさんの喜ぶ顔がみたいな～と思いながら過ごしていましたが、、、

元担当ケアマネのCさん『Fさん、焼き芋好きなんですって』

って、ナイスな情報。焼き芋のお話をするときのFさんはいつも見せない笑顔！！

『お母さん(娘)がスーパーで買ってきてくれるんですけどね（昔ながらの石焼き芋とはちょっと違う)』

『今度来たら教えてくださいね』

と、いつもの控えめのFさんとはちょっと違う、積極的な一面。

そして、

・9日（木）、焼き芋屋さんが来てくれることになり、お伝えすると、用意していたお金を取り出し、１０００円分購入され、とても満足そう。やっぱりおいしい食べ物は人を幸せにしますね。

Fさんの笑顔が見たいので、また石焼き芋イベントを決行したいと思います。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・今週は、節分イベントで2/8に、手作り鬼ボウリング、豆まき、春の歌を歌い、最後は恵方巻き作りをして夕食に食べてもらい、楽しんで頂きました。皆さん健康を祈願して、鬼役のスタッフに「鬼は外～！」と元気いっぱいに豆まきを楽しまれていました。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤恵美子さん

・節分イベントで豆まきをされたユニットや恵方巻き風クレープを作られていました。2/3昼食には食事と一緒に節分のカードか添えられていました。節句や季節の行事などいつもカードか据えられており、それを大切にとって、居室の引き出ししまっている利用者さんもいます。そのカードを見ながら「おいしかったね」と。次のカードを楽しみにされています。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・11日、前日から降っていた雪も、朝にはやみましたがケアホームの周りにも沢山雪が積もりました。朝からスタッフが雪かきをしてくれて、皆さんと雪うさぎを作り、写真を撮り、良い笑顔が見られました。

■さくらの杜こども園：我妻亜紀さん

・節分が終わり、２月の製作で子供達にラーメンを作ってもらいました。毛糸の麺や、なると、メンマ、卵などを楽しそうに貼って、美味しそうなラーメンが出来ました。いつも職員さんがいろいろなアイディアを出してくれて、子供達も喜んで製作出来ています。

・３月のひな祭りに向けて、紙コップでお雛様を作っています。和柄の折り紙をちぎったり、シェービングブラシで絵の具を塗ったりと子供達は楽しそうに、でも不思議そうな表情で行っていました。自分の手で糊をペタペタ貼る表情も皆それぞれ違って面白いです。小さな手で一生懸命行っていました。

・雪が積もった日がありました。窓から雪を喜んで見ていました。少し外に出てそり遊びなどもしましたが、雪が解けて出来た水たまりの方が好きな様子でした。小さい手で雪を触って喜んでいました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・「カレーを作りたい｝とおっしゃっていたＴさんが職員さんと一緒に台所に立ち。楽しそうに調理されていました。

・職員さんが大正琴を弾いて下さいました。聴いていたご利用者さんはとても喜ばれ、「私も昔やっていたのよ」と懐かしく感じていました。

■ショートステイみはるの杜：佐藤雄さん

・2/12 バレンタインイベント実施。果物を切ってくださる方、割りばしに刺してくださる方と役割分担から長所を発揮していただきました。下準備が済んだイチゴやバナナをご利用者一人一人に感性を生かしたデコレーションをしていただき皆さん満足そうに召し上がられていました。

■介護老人保健施設希望の杜：冨沢直人さん

・2月3日は節分ということで、フロアごとに豆まき会を行いました。職員が鬼に扮して、ご利用者が「鬼は外、福は内！」と笑顔で豆を投げていました。ご利用者のHさんは「鬼を追い払ったから、今年は良い年になると良いね」と話されており、みんなで無病息災を祈願しました。

■グループホームかぐらの杜：半澤克也さん

・新規入居された田桑政子様お誕生日を迎えられ、皆さんでお祝い会を実施しました。お昼はお寿司を食べられ、寄せ書きをみながら、涙を流され大変喜ばれておりました。息子様も面会時に「生寿司とか食べれんるんですね、母が大変喜んでおりました」と感謝の言葉を頂きました。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・1月まで点滴をされていた100歳のTさんですが、最近はバイタルも安定し、水分やエンシュアの摂取もできており、ご本人の希望どおり、点滴をせずに過ごせています。ご本人の状態を確認しながらスタッフが離床の時間やご本人への水分の提供など関わってくださっています。嚥下状態を確認してアドバイスをくださるSTの相澤さん、来所した際にいつも的確なアドバイスをしてくださる橋本さんや菊池さんをはじめ、訪看の看護師さん、いつも本当にありがとうございます。清山会のチームワークに感謝しています。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・2階あやめユニットに入居されたIさん。太極拳を9年続けられ全国大会で準優勝の腕前を、皆さんの前で披露してくださります。椅子に座りながら動作をマネされる方、立って動作をマネされる方。職員も一緒に教えて頂いています。午前、午後に太極拳で身体を動かす事が習慣になりつつあります。

■ケアホームいちいの杜：久保内大介さん

・9日（木）外部評価があり対応しております。ご家族へのアンケート結果より、しっかりと高い評価を受けていること、事業所の新聞から入居者さんのイキイキした様子が伝わるなど、うれしいお言葉も頂きました。

■グループホームはごうの杜：大﨑美智子さん

・9日にわかばユニットの節分祭を行っています。Aさんの登場にみなさん大変喜ばれており、楽しい時間をお過ごしになっています。来月の雛祭りもみなさんで楽しい時間を過ごせるように準備を行って行きます。

■グループホームみやぎの杜：鈴木篤史さん

・9日にひばりユニットに入所されたNさんに料理のお手伝いをお願いすると、盛り付けを行って頂きました。「料理はやらなきゃいけないものだから」とお話されながら一生懸命行われていました。その少し前に入所されたYさんも一緒に行われています。その他にも洗濯物を畳んで頂きました。入所して間もなくで、不慣れな場所でも一生懸命に働かれていました。

・12日にかもめユニットでYさんが台所に立ってじゃがいも、人参、玉ねぎを手際よく切られていました。その日の夕食は肉じゃがで味付けも「しょうゆをもう少し入れてもいいね」等アドバイスをされながら職員と一緒に行われていました。「肉じゃがってなんだかおふくろの味みたいだ」とも話されていました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今週は天気が良い日に西公園の方へドライブに出掛けたり、バレンタインに向けての装飾作りを行っております。バレンタインにはなじみがない方もいらっしゃり、「日頃の感謝をお伝えする日にしましょうか」とお伝えすると「それは良い事だね。感謝の気持ちは忘れちゃいけないね」と準備を進めております。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・2月９日悠々カフェを実施しました。縁側にテーブルを置き、外を見ながら癒しの音楽を聴き、皆さんに好きな飲み物、おやつを選んでいただき召し上がっております。普段と違う風景で好きな場所に座り思い思いに過ごされておりました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・2/９（木）午前と午後に分けて、買い物に出かけています。利用者さんからの要望が強く聞かれており午前にヨークベニマル、午後にしまむらに出かけています。参加された利用者さんは、ご自分が欲しい物を沢山購入され喜ばれていました。特にしまむらへ出かけられた方は、真剣な表情で衣類を選ばれており、わかなに戻られた様子からは大きな満足感が伝わってきました。

■介護老人保健施設希望の杜通所リハビリテーション：千葉一也さん

・2月8日（水）は希望の杜の恒例イベント”希望寿司”の日でした。コロナ禍以前のようにご利用者の前で握ってくれたお寿司を召し上がるパフォーマンスはできなかったですが、♪スシ食いねェ！をBGMにみなさんとお寿司をいただき、満腹！満足！の一日となりました。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・12日にバレンタインイベントを行いました。串に刺したフルーツにたっぷりのチョコレートを付けて皆さん満足そうな表情を見せておりました。その後はケーキバイキング。「腹いっぱいだよわ～」という会話が聞こえてきました。

**【２月13日～２月19日】**

■介護老人保健施設希望の杜：齋藤淳さん

・2月14日はバレンタインデーということで、フロアにてご利用者と一緒にチョコレート作りを行いました。Ｙさんより「たまにはこういう、はいからなものも作ると楽しいね」とお話しを頂きました。出来上がったチョコレートは、皆さんで分けておいしくいただきました。

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・今週はKさんの誕生日でした。最近は腰痛で自室から出ないことも多かったのですが、皆のお祝いを受けて表情も緩んでいたようです。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：大嶋貴子さん

・3週間の予定でOTの学生さんが実習にいらしています。専門的なことを学ぶのももちろんですが、老健や通所での仕事の醍醐味をたくさん感じていただけたら…と思います。職種関係なく声を掛けて下さっている職員の皆さんにも感謝です。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・新しく入る利用者さんと契約をしてきました。その方は娘さん夫婦と一緒に見学に来られ、その場ですぐに「私ここに入るわ。気に入った」と自分で入る事を決められました。それ以降、ななみでの生活を楽しみにしているようで、契約の時も「これからお世話になりますね。出来る事は何でもやるし、他の方とも沢山おしゃべりしたり仲良く楽しく暮らしたいです。」等と、私の手を撫でながらニコニコと話をしてくれました。

ななみの利用者さんにも、今度新しく入る方がいる事を伝え、その方が皆さんとの生活を楽しみにしている事を話すと「そうなの？どんな人なんだろ。一緒におしゃべりできるといいよね」等話されていました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・今週は、２月１３日にお誕生日のお二人、HさんとSさんのお祝いをしました。前日夜にはご希望のお寿司を堪能され、当日はささやかなプレゼント(スタッフからの色紙)にお二人とも、嬉し涙を浮かべておられました。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・約３か月前に体験利用されたKさん。『何曜日の何時とか決められるの私無理なのよ』と、介護保険の枠組みに縛られるのが嫌だと、体験利用のあと、『また来るときに電話するね！！』と。まるで私みたいな、まさに自由人。きっと定期利用にはつながらないのかな、なんて思っていたら、『お風呂に入りたいからいってもいい？』と突然のご連絡。急いでケアマネに連絡して次の日には担会、契約。本当に当日来るのか半信半疑でいましたが・・・

朝から準備して待っていてくれたそう。

８０代の割りにフットワークが軽く、お話のテンポもキビキビ！！そしてせっかち。

お昼前には、『朝９時から来てるんだよ？もう帰るわよ？』なんて話ながらも、デイを堪能してお帰りになりました。日帰り温泉みたいに、行きたい日に行ける、帰りたいときに帰る、私たちには当たり前のこと。制度の枠組みが歯がゆいですが、今できる範囲で柔軟に対応したいと思います。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤恵美子さん

・ユニットではバレンタイン企画がありました。利用者さんからの「バレンタインって何だ？」「好きな人にチョコレートを作ってプレゼントする日と職員が説明すうと「いい日だね。私もチョコを作ってみんなに食べてもらいたい」とのことで、バレンタインチョコスイーツづくり企画・男性利用者さんから「もうすぐバレンタインですね。昔はもらいましたよ～。今年は・・・」職員と利用者さんからの会話からのバレンタイン企画など、バレンタイン企画週でした。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・2/14(火)ご利用者さんと一緒にいちご狩りに行ってきました。採れたてを食べるイチゴは格別で、「すごく美味しい」「甘いイチゴだね」との声が聞かれ、楽しい時間を過ごすことができました。

■さくらの杜こども園：我妻亜紀さん

・17日で退園のお子さんがいました。１歳になってしばらくしてから入園されたお子さんでした。眠いのに布団で眠れず、職員が交代で抱っこやおんぶをしたり何とか眠れる方法は無いかと大変悩んだお子さんでした。最近ではすっかり成長し、いろいろな事があっという間に出来るようになり、子供の成長の速さを感じさせられたお子さんでした。園では皆のお姉さん的存在となり、私たち大人もいつの間にか頼ってしまっている、そんなお子さんでした。大きくなって大きな集団生活に入ってもきっと、沢山のお友達が出来る素敵なお子さんだと思います。とても寂しい気持ちですが、元気に成長してほしいと職員一同願っています。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・女子会(？）にて、バレンタインデーにチョコレートづくりを賑やかにされました。出来上がったチョコレートは一応、男性の方にお渡しし、残りはみなさんででお茶を飲みながら召し上がっていました。

■特別養護老人ホームふたばの杜：渡邊麻衣子さん

・節分が終わり、今週はバレンタインデーがありました。各階で日頃の感謝をこめてチョコをお渡ししています。2階はおやつ作りでチョコマシュマロを作成し、召しあがっていただきました。3階は、数種類のチョコをラッピングし皆さんに渡しています。すぐに召しあがる方、数日かけて召しあがる方、食べ方は人それぞれです。

・雛人形を飾りました。玄関には大きな7段飾りの立派な雛人形です。以前いらした入居者さんにいただいた。と聞きました。先日見学に来られた方からも「こういうのいいですね」と仰っておりました。

■ショートステイわかなの杜：小山内月海さん

・15日にＳＳわかなの杜で、ジャガイモブロッコリー。旬なイチゴなどを準備しバイキング形式でチーズ,チョコフォンデュのイベントを行いました。様々な具材を見て「どれにしよう～」とご利用者同士相談されていたり、あまりソースを付けず、苺のまま召し上がったりと皆さん好きなように、楽しんでおりました！

「はじめて食べたよ！美味しかったよ」とお話を頂き素敵な思い出を作ることができました。

■介護老人保健施設いずみの杜：斉藤慎一さん

・2月14日、ご利用者と一緒におやつ作りを行いました。

完成したホットケーキにあんこやチョコレートを添えると、おいしそうに頬張っていました。つい最近入所されたKさんやSさんも楽しそうに参加されていました。ご利用者の意向を聞きつつ、今後も楽しい時間が提供できるよう努めていきたいと思います。

■グループホームかぐらの杜：半澤克也さん

・Hさん、いつも水彩画を一生懸命描かれています。風景画や人物画等デッサンから色彩の構図を考えながら取り組まれています。額に入れて廊下へ展示し、Hさんの個展を開きたいねとお話しているところです。創作活動に励んでいただきたいと思います。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・1月に転倒され、松田病院に入院していたHさんが17日に病院にてお亡くなりになりました。1年半くらい前から食事の摂取が不安定になり、ご本人の好きなものなどを提供しながらグループホームで過ごしていました。手術直後はなんとか食事をとっているというお話を聞いていましたが、1週間以上たったあたりから全く食事がすすまなくなったとのことで、7日には病院で退院に向けてのお話をするはずだったのが、延命はしますか？というようなお話の内容となりました。グループホームとしては、元気で帰ってきてほしいというのが一番の想いでしたが、もし、ご本人やご家族が望むのであれば、お看取りで戻ってきて、みんなの声の聞こえるところで過ごしてほしいと思い、次女さんに提案しました。次女さんは父にとってはそれがいいと思いますが…と話されましたが、翌日の長女さんとのZOOMでは長女さんはあくまでも治療をして元気になってグループホームに戻るという想いでした。実際のご本人を見ている次女さんと遠いアメリカで週に1回のZOOMで面会したり、電話で話を聞いたりしている長女さんの想いと、一番はご本人がどうしたいかということを考えなければならなかったのですが、こういった状況となった場合、やはり決定権は家族にあります。長女さんとは2年半くらい、毎週ZOOMで面会をし、なんとなく私たちの想いが伝わっているかな？と思うこともあれば、Yさんの老いを受け入れることが難しい発言がところどころに聞かれ、どうしたら人が老いていく、体の機能が低下していくということを理解していただけるんだろうと私はかなり悩みました。（アメリカには体が弱っていく老人はいないのか？という偏見すらもちました）千坂さんをはじめ、みはるの杜の庄司さんや熊谷さんともお話していただいたり、リハスタッフや栄養士さんなども巻き込んで、みんなで関わって下さいました。先週も書きましたが、清山会チームワークに感謝しています。

　今回、アメリカの娘さんからメールでYさんが亡くなったとの連絡をいただきました。葬儀などの日程は次女さんからいただきました。お通夜で次女さんとお話をし、次女さんは最近転倒が増えてきていたこと、食事も低下し、だんだんと体力も衰えてきていたから仕方がなかったとお話しされており、Yさんの死を受け止めておられました。長女さんはすぐには帰国されないとのことでしたが、どのように感じているのかその後連絡をとっていないのでわかりません。

　Hさんとご家族さんからはたくさんのことを学ばせていただきました。私の想いとしては、面会も制限されている病院で一人で亡くなるのではなく、最期はみんなの声の聞こえるところで過ごしてほしかったです。（転倒した原因が、みんなの気を引きたくて立ち上がってみんなのところへ歩こうとした、人が大好きなYさんだったので）棺の中のYさんは穏やかな表情をしていましたが、髪の毛や鼻毛が伸びており、最期に綺麗にしてあげたかったな…とも思いました。遺影に昔のバリバリ働いていた頃の写真ではなく、去年の桜を見に行った時の最近のYさんの写真を使ってくださっていたのが、嬉しかったです。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・N様が不安や悩みについて、職員にお話されていると、傍に座っていたⅠ様、Ｓ様、Ｙ様が「大丈夫よー！」「ここにいる皆が、あなたの味方よ」「傍にいるから」と、とても温かな言葉をＮ様にかけられていました。その言葉を聴いて「ありがとうございます」「ご心配おかけし、すみません」と涙を浮かべられていました。皆さんのご様子や仲間を思いやる仕草に、とても心が温かくなった1日でした。

■グループホーム「けやき」：渡邉江利子さん

・２/14バレンタインデーとの事でチョコケーキ作り入居者さんにバナナや生クリームでデコレーションしていただき、みんなで召し上がりました。「おいしいねー」とお話されながら召し上がられておりました。

■グループホームはごうの杜：大﨑美智子さん

・食堂内の設えを、入居者のみなさんと一緒に作成しております。「あら～こんなに可愛い鬼さんなら、なんぼいてもいいね～」と笑顔ではなされていたＳさん。出来上がりにも大変満足されていました。

・２/16に、震度６の地震発生による避難訓練と、大地震後にスプリンクラー誤作動からコンセントがショートし火災発生を想定とした訓練を行いました。当日は、職員のみなさんと地震発生時と火災発生時の動きの再確認を念入りに行っています。また、消防の方から、停電時のスプリンクラーの手動開閉について、開閉バルブの場所の確認をしていただきたいです！とお話しをいただき、安全商会へ確認しています。今回のような地震発生と火災を想定した訓練を行うことで、消防の方からのアドバイスも備えに対して的確なものであり、次へと繋がる訓練になったと思います。今後も定期的に避難訓練を重ね、非常時に慌てずに迅速な対応ができるよう日々取組んで行きたいと思います。

■グループホームみやぎの杜：鈴木篤史さん

・少しずつ天気も良くなってきて、日中の気温も高くなってきましたので、昼間にデッキに出て日光浴や近所の散歩に行くことが増えてきました。少し前のコホート期間はずっと居室に籠る生活が続いていたので、少しずつ外に出たり、皆で楽しめることを行っていきたいと思います。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今週はバレンタインイベントにてクレープ作りを行っております。皆さんにお好きな具を選んで頂き、ご自分で蒔いて頂きました。クリームを沢山いれる方、イチゴを沢山いれる方、ご自分で作るのが難しい方には手伝って下さり、「こうやって作るんだね。初めてやって見たけど、美味しいね！」と作るのには1時間かかっても食べ終わるのは10分弱とあっという間でした。ご自宅では体験できない事、出かけるのが難しい外出など皆さんの声を大切にイベントを行って頂きたいと思います。

■さくらデイサービスセンター：三邉純さん

・先月ご利用者から「たまには出前でもとって食べたいね～」とのご希望がありました。１つのテーブルの方５名に食べたい物をお聞きし「海鮮丼」に決定しました。ご家族様に説明し今週１７日金曜日地域のフードコートに海鮮丼専門店がありテイクアウトしました。別室の相談室に５名のご利用者を案内し、海鮮丼、厨房から小鉢の副菜と味噌汁が提供され準備しました。ご利用者から「なんか料亭に来たみたい。嬉しい～」との声と「この日をとても楽しみにしていたの」との声が聞かれました。職員の開始挨拶中に召し上がる方もおり、それぞれのペースで召し上がりみなさん完食されていました。普段昼食を残す方も「海鮮丼完食しました。」「企画していただいた職員に感謝です」「仲の良い人と食べれて良かった」「幸せ一杯またみんなで食べたい」と感想を述べられ出前イベントは大成功でした。今後も定期的に出前イベントを開催しデイサービスに来る楽しみの一つとして続けていきたいと思います。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・2/14（火）バレンタインデーにちなみおやつバイキングを開催致しました。洋菓子・和菓子はもちろん、ピザやフライドポテト、お漬物もご用意し「甘い」「しょっぱい」の無限ループで皆さん大いに召し上がっておりました。飾りつけも大変好評で始まる前から「あー素敵ー」「かわいいわねー」と目でも舌でも喜んでいただけました。今後も感染対策に留意しながら、ご利用者の元気活力の基となるようなイベントを行なって参ります。



■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・19日に地震避難訓練を実施しました。津波が来ることを想定して訓練を行いました。実際に津波を経験している方も多いため、皆さん真剣な表情で参加されました。今回の訓練では避難前の点呼、避難後の点呼を確実に行うことができたので良かったです。職員間でも改めて確認することが出来ました。

・今週は太極拳経験者のスタッフが中心となり、皆で動画をみながら太極拳を行いました。いつもとは違うゆっくりとした動きが心地よさそうでした。

**【２月20日～２月26日】**

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・1階Tさん、仲良くされていたご近所の区長さんが新型コロナが原因でお亡くなりになったとの知らせを受け、一定期間をおいてから弔問に出掛けております。3歩歩いては立ち止まって休憩しながら、ようやくたどり着いて娘さんにお悔やみの言葉を届けることができ、ご本人もホッとしたようでした。まだまだ高齢者にとっては怖い病気であることを痛感させられる出来事でした。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：大嶋貴子さん

・対面での面会が再開となり、早速Oさんが入所中の奥様と面会されました。久しぶりの面会は、なんと奥様バースデー面会となり、お二人の笑顔に私たちも嬉しくなりました。

■杜の家ゆづる：本木伸吾さん

・2月21日22日2日に渡り山元町（亘理）までいちご狩りに行っています。前日よりいちごの話題で持ち切り2年以上ぶりの外出となったことで、参加希望者も多かった。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・20日、スイーツバイキングを行いました。午前中に準備をして、おやつの時間に皆さんで頂きました。色とりどりのスイーツに、皆さん喜ばれていました。

・26日、ドライブへ岩沼の竹駒神社へ行きました。お参りをしたIさんご夫婦は、久しぶりのお2人揃っての外出でした。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・Hさん2月25日に永眠されました。ホールでいつものように過ごされていましたが、皆がいる所でスっと眠るように永眠されました。以前よりお一人でいたくない、皆と一緒にいたいとのご希望通りの最期でした。

お見送りをしたいと皆さん、お一人お一人お見送りされていました。特に、一緒に長い時間を過ごされたTさん、Kさんは、これまでのHさんとのことを思い返し、涙ぐんでおられました。メモリアルカンファレンスも行っていきます。

・今週は、２月２３日にHさん(お看取り期)の、ここ１週間希望されていた”家に帰って書類の整理がしたい！！”という想いがありスタッフ同伴でご自宅まで行ってきました。12月より体調を崩し、足に力が入らず思うようにカラダを動かせないHさん。直接、自分での書類整理は出来ませんでしたが、昼食にはご希望のラーメンをすすり、奥様手作りの卵焼きも食べることが出来ました。

食後は、NHKのロシアの歴史番組を奥様と一緒に１時間以上見つめており、戦争への想いを共感しておられました。Hさんから「また来たいな！」奥様も「また、来てね！」「主人の教え子の方達にも、主人と会えること伝えてみます！」とお話しされて、お家をあとにして来ました。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・21日(火)　久しぶりに外部にボランティアへ。最近外部に行ってなかったので、感情を表に出さないSさんもちょっとワクワク顔。　今回は近所のファミマさんへ。　前回見学させていただき、『店の人の邪魔になるんじゃないか』と心配していたけど、屋外の清掃をしたい、との意向があったので、今回は屋外での活動をメインで行いました。お店の方も、すごく遠慮して、『これは重いから自分が持ちます！！』と申し出てくださりましたが、こちらとしてはできることはやらせてほしい、のスタンスなので、『大丈夫です。』とけん制。

30分弱でゴミ袋３つ分ほどの草、枯れた枝を回収し、Sさんも私もとってもすっきり。

まだまだできることがたくさんあるし、ボランティアするなら相手にもメリットがあってほしい。手探りでの活動だけど、相手にもSさんのような方がたくさんいることを知ってもらうことがまず第一歩。そこから、価値を認められて仕事がもらえるようになるといいなと思います。

今週はまた手探りながら、『犬の散歩』ボランティアに行く予定です。上手くいくかわかりませんが、Sさんも私もとっても楽しみです。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・２/20（月）午前の時間を利用して、以前から参加を募っていた買物へ出かけています。今回は、近くにあるヨークベニマルまで出かけています。一人暮らしの利用者さんより参加の声が聞かれており、企画、実行を行っています。みなさん普段から買い物に行くことが大変なようで、今回参加された方々は沢山購入され笑顔で戻られていました。

■さくらの杜こども園：我妻亜紀さん

・園児が１名の日が続いていますが、楽しく遊べるように職員で毎日いろいろ考えていました。新聞を雪のようにビリビリと粉々にちぎって思い切りばらまいて大興奮して遊んだり、柔らかいボールや風船をみんなで思い切り投げて体もいっぱい動かして遊んで過ごしています。紙風船で遊ぶ事は1歳児さんにはなかなか難しいですが、そっと持つ、と伝えるとニッコリしながら、とても興味を持って職員の真似をして楽しんでいました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・がん月が食べたいとの声があり、作ってみました。お茶の時間にみなさんにお出しすると、「懐かしい」とおっしゃる方、もう少し黒いやつが良かった、とおっしゃる方、色々な感想を頂きました。また皆さんで、がん月作りしたいと思います。

■グループホームかぐらの杜：半澤克也さん

・Kさん、以前に意識消失や覚醒レベルの低下等もあり清拭対応となっておりました。入浴時のリスクを娘さんと共有しながら、ご本人も何より温泉やお風呂が好きな方であり、是非、入浴と強く希望されておりました。岩尾さん、桑原さんのご配慮もあり２４日金曜日に桑原さんに立ち会いいただき、娘さんと一緒に入浴を行うことができました。ご本人も大変喜ばれ「ありがとう」と何度もお礼を述べられておりました。娘さんも大喜び、記念の写真を取られたり、お母さまの髪やお体を声を掛けながら洗われ、Kさんもその声に応える。親子の絆を感じられる一瞬でした。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・20日O様のお別れ会を行いました。悠々を利用して３年が経ち、利用して楽しかったと話されておりました。ご家族様からも感謝のお手紙をいただいております。最後にOさんに希望を聞くと松島まで行きたいとの事。ドライブに松島まで行き記念写真を撮りお渡ししました。今後はＧＨななみの杜に入所になりますが、みなさんと楽しみのある生活を送っていただけたらと思います。

■ゆかりの樹：犬飼裕美さん

・今週は、皆さんからおにぎりが食べたいとのご希望があり、おにぎり作りをしております。

具材は何がいいか事前に聴取して、さけ、こんぶ、たらこ、みそ、ご自分で好きな具材を選んで頂きました。形も三角や丸、ボール型等それぞれのおにぎりができ、「たまには茶碗で食べるご飯じゃなくて、おにぎりもいいね」と召し上がられておりました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・居室から見える隣家の梅のつぼみが開いてきました。本日ウグイスも来ており、それをお伝えすると「あら、来たの！」と皆さんの顔もほころびます。エビさんがスマホでウグイスを検索し皆さんと一緒に愛でておられました。「ウグイスが来ると春なんだよ」「もうすぐ春なんだよ～」「ホーホケキョって鳴くんだよ」と大いに盛り上がりました。

■ケアホームいちいの杜：久保内大介さん

・入居者のAさんが、プランターの土の入れ替えをされ、花の種をまいてくださいました。朝・昼・夕方と精力的に実施していただきました。まだプランターが残っているので、そこには花の苗や野菜作りをしようかと話しておりました。

■グループホーム「けやき」：渡邉江利子さん

・冷蔵庫にバナナが残っており入居者さんとゲリラお菓子作りを行いました。バナナをつぶして頂いたり、混ぜてもらったりとお手伝いいただきバナナケーキを作りました。「おいしいね」と微笑まれながらおやつにホットミルクと一緒に召し上がられておりました。

■グループホームはごうの杜：大﨑美智子さん

・こがねユニットにホールに、ひな人形を飾りました。「こんなに大きな段々は、みたことないね～」と、上から下からと忙しく眺められ、いいですね～」と、笑顔で話さいたＲさん。来月の雛祭り会が楽しみです。

・運営推進会議に参加して下さっているボランティアの方より、ボランティアの受け入れが始まりましたら、是非ともお声がけ下さい～と、ありがたいお言葉をいただいております。地域のみなさんの温かい支援に支えられていること、この支えは決してあたりまえにある物ではなく、長年培ってきた信頼関係があるからなのだと改めて気付かされました。

■グループホームみやぎの杜：鈴木篤史さん

・ひばりユニットのMさんが21日にいずみの杜診療所の仕合わせの会に参加されてきました。ご本人はとても楽しかったと話されていました。事業所に戻ってからも楽しかったこと、「また行きたい」と他者やスタッフに嬉しそうに話されていました。

・24日に天気が良かったので、かもめユニットのHさん、Yさんで近くの公園まで散歩されてきました。公園のベンチに座って「昔この辺に同級生が住んでてね～今はどうしてるのかな」等、昔話をスタッフや他者にされていました。久しぶりの散歩で笑顔が見られていました。

・26日に各ユニットから1、2名ずつお連れしてドライブに出掛けてきました。富谷、大和方面まで足を延ばしてきました。

■介護老人保健施設希望の杜通所リハビリテーション：千葉一也さん

・20日（月）に松森にある”一苺一笑”へいちご狩りへ行ってきました。ご利用者もスタッフも夢中になってお腹いっぱい大きな苺を食べてこれたとのことでした。玄関前に飾られた写真を見て”私も行きたい！”とご希望される声もあるので続けて企画したいと思います。

■いずみの杜診療所：菅澤宏紀さん

・2月23日のいずみの杜の昼食は、世界のメニュー第3弾として、「ハンバーガー」(ご利用者さんの希望に応じてハンバーグ定食に変更）でした。管理栄養士の上野さんが厨房職員さん達と、具材から包み紙まで試行錯誤しながら考えてくださいました。

当日は珍しい昼食に皆さん驚かれたご様子も、ハンバーガーを片手に「美味しい！」「初めて食べたけど、全部食べたよ。」とのお言葉が聞かれておりました。これからもご利用者さんに楽しんでいただけるような行事食をご提案していければと思います。



■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今週は2月のお誕生者のお祝いを行っております。どんなお祝いが良いかご本人に伺うと「味噌ラーメンが食べたい」との事で味噌ラーメンを皆さんで作ってお祝いしました。ゆかりの杜では宅配のお弁当をお昼にお出ししている為、麺類が出る事ありません。ご本人からは「うめえ」とお声が聞かれ、皆さんも「ん～美味しい、美味しい！」と好評でした。来月は梅の花を見に行き、ちらし寿司でひな祭りをする予定です。春を楽しみたいと思います。

■介護老人保健施設いずみの杜：佐藤佑典さん

・今週は晴れた日を見計らって、ご利用者の皆さんと塩釜神社に行ってきました。久しぶりの外出とあってか、道中車内ではたくさんの笑い声に包まれ楽しいドライブとなりました。神社に到着後は今年初詣の方もいらっしゃったので、それぞれ手を合わせながら思い思いに祈りを捧げております。

■さくらデイサービスセンター：三邉純さん

・送迎時梅の花の開花が見られ春を感じます。デイサービス玄関近くに桃の花の枝を花瓶にさしています。毎年ご近所のカーテン屋さんが持ってきて下さっています。デイルームの暖房で開花が進みピンク色の花が咲きご利用者を迎えています。来週は気温も上がるとの予報です。お花見の企画も立てて行きたいと思います。

**【２月27日～３月３日】**

■グループホームはごうの杜：大﨑雅之さん

・3/3に各ユニットでひな祭りを開催しました。手作りの雛飾りを作るユニット、桃の節句にちなんだ歌を歌うユニットとそれぞれに過ごしました。皆さんに昔の様子を伺うと、家が広かったから7段飾りを出してたよとのお話を多く聞きました。食事ではちらし寿司をみんなでいただき、おやつには甘酒も飲まれ、ゆったりと過ごすことができた一日でした。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：大嶋貴子さん

・復職のため4月いっぱいでご利用終了となる予定のSさん。復職に向け、事務作業を一生懸命練習されています。そのひたむきさに、さくらの杜で過ごせる残りの期間、一緒に何ができるか改めて考えさせられました。

■グループホームあおばの杜：関内利奈さん

3/3各ユニットでひな祭りを行っております。ご入居者と一緒に酢飯つくりや盛付けを「ここにこれをのせたらいいんじゃない？」「ここ、もう少し多いほうがいいね」「味付けはこれくらいがいいよね」と相談しながら完成。

出来上がり後は「おいしいねぇ」と味の感想や「娘がいるから昔は、雛人形飾ったりしてたよぉ」と想い出を聞かせてくださいました。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・23日に新しい利用者さんが入居されましたが、あっとういう間に打ち解けられ、仲良くテレビで目についた事、家族の事、仕事の事、ここでの生活の事など毎日仲良く笑顔でお話されています。「ここでのんびり暮らしてさ、娘たちも安心だし、幸せだわね」等嬉しい言葉も時折聞こえてきて、こちらの方がほっこりする瞬間でした。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤恵美子さん

・さくらの杜事務所前に雛飾りが飾ってあり、散歩に来てみて行かれたり、写真を取りにこられたり、季節を感じていただき昔話へと盛り上がっていました。おやつには甘酒も提供され「うまかったな」と。また、男性の利用者さんからは「今日はおなごの日なのに、ごちそうになって」と喜んでくださっていました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・小野千代子さんが5日に入所しましたが、ご家族から『ここはイイですね。色々みてきた特養さんとかは何だか暗い感じがあって、、、ここはパァッと明るくていいですね。安心しました』と言葉を頂きました。入所される本人だけでなく、ご家族も同じように不安があることを改めて知りました。雰囲気でグループホームの良さを感じて頂けたことを大事にしていきたいと思います。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・27日、地域の方に毎年声を掛けて頂いている、ひな人形を見せてもらいに、外出。昔からある倉に、15体のひな人形が飾られています。様々なお顔を眺めながら、昔を思い出し、ゆったりとした時間を過ごさせていただきました。

・3月の行事のひな祭り会を行いました。マンドリンを職員が弾いてくれて、ひな祭りの歌を皆さん唄われまＨした。皆さんで作ったひな祭りのお弁当には、散らしずしや煮物、蛤のすまし汁も食べられました。おやつには、道明寺で春を感じる一日でした。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・3/2に先週予告した犬のボランティアに行きました。始まりは、包括からSさんのことでご相談。家から出たくない、病院にもなかなか行けない、お風呂にも入れない。デイサービスの体験をお願いしたいとのお話。訪問してみると、元気が有り余っているワンちゃん！！会話が成り立たないくらい元気すぎ！！！

でも、Sさんも奥様もワンちゃんを大切にしていて、散歩に行けてないことで申し訳ない気持ちがあると感じました。

そこで、いつも温めている私のやりたい事リストの中から、

『犬が好きなのに犬を飼えない人が犬と触れ合える』

というのがヒットし、デイの利用者さんに聞いてみると『犬大好き！！行きたい』とのお返事。

元気有り余るワンちゃんなので、転倒の危険もあるし、何より、犬相手だから何があるか分からない！！ドキドキでしたが、とりあえず狂犬病の予防接種をしていることを確認し、決行。

２０分くらい散歩し、ワンちゃんも利用者さんも気分転換になりました。

また時間を見つけてお散歩に行きたいなと思います。

そして、デイには結び付かなかったけど、Sさんとはワンちゃんを通して交流が出来たらいいなぁと思っています。

・そして3/3はひなまつりイベント。３色に色付けした酢飯を型に入れてその上に具材をのせるちらし寿司ケーキと蛤のお吸い物を作成。『えー、自分で作れっていうの～』なんて冗談言いながらも、『次どうすんの？？』とせっせと作業をし、最終的には『初めて作った』『美味しかった～』など、素敵な笑顔でお話してくださいました。中には、90歳で『初めてひな祭りをお祝いしたよ、楽しかった』と話して下さる方も。

また、たなばたけで取り寄せした立派な蛤にも感動していただきました。

イベントの企画運営は大変ですが、こうやって利用者さんが楽しんで下さることが何よりです。これからも一緒に考えて一緒に行動していきたいと思います。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・2/27(月)に暖かく天気も良かったため、ご利用者さんと一緒に大崎八幡宮へドライブへ出掛けてきました。久しぶりのドライブの方もおり、車中も笑いの絶えない楽しい時間を過ごすことができました。

■特別養護老人ホームふたばの杜：渡邊麻衣子さん

・管理栄養士の大江さんはいつもイベントで美味しいおやつを提供して下さっています。今週はひなまつりで、見た目がかわいいケーキ、またゼリーを準備してくれました。皆さんの笑顔もいつもより輝いておりました。また、ショートステイではプチイベントを開催しております。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・だいぶ暖かくなってきたので、植物の剪定をしたり、側溝の掃除を行いました。

震災から11年。防災に対しての意識が継続し、途切れないよう備えたいと思います。

■介護老人保健施設いずみの杜：菅原健さん

・今週は良い天気を狙って七ヶ浜の多聞山に行ってきました。初めて外出のSさんはずっとニコニコとされていました。清々しい陽気と天気に「スッキリした～」や「眺めがよくて良かった～」と皆さん笑顔でドライブを満喫されていました。

・3/3はひな祭りを行いました。お昼は海鮮丼、おやつにはリクエストのあった甘酒とひなあられを食べながらゆっくりと過ごしました。小さな雛飾りを見て「素敵ね～！もうすぐ春ね～」と季節を感じていらっしゃいました。

■グループホームかぐらの杜：半澤克也さん

・ひなまつりとして、ちらし寿司をご入居者の皆様と一緒に作り食べました。黄色やピンクの彩り豊かなお寿司を皆様喜ばれ食べておられました。「美味しくて、いつも以上に沢山食べちゃったわ、運動しないと太って大変」と冗談交じりに笑顔あふれる時間を一緒に過ごすことができました。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子

・4日に学生の体験ボランティアさん来所しています。就職活動中とのことで、リネン交換や利用者さんとの関わりの時間を持っていただきました。日頃から褒め上手なKさんにはデイをお休みしていただき、一緒に体操をしたり、お話をしたりして過ごしていただきました。介護は大変なことだけではなく、楽しいことが多いということを若い学生さんに知っていただき、清山会に就職を希望する人が増えればいいな～と思います。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・3/3は朝より、ひな祭りの話題でもちきりでした。ひなあられを召し上がりながら、父に7段飾りを買ってもらったのよと笑顔で教えてくださったS様、母が手作りで雛人形を作ってくれたと教えてくださったI様。皆さんと幼少期の思い出話が尽きませんでした。

■グループホーム「けやき」：渡邉江利子さん

・3月3日はひな祭りとの事でひな祭りメニューでちらし寿司を皆さんで召し上がられています。また、おやつにはひなあられを召し上がられておりました。

■グループホームはごうの杜：大﨑美智子さん

・3日に両ユニットにてささやかな雛祭りを行いました。お雛様の和菓子をみて、「かわいいね～」「珍しいね～」と、笑顔で召し上がっておりました。わかばユニットのＩさんは、「こんなに大変な中なのに、かわいいお雛様の和菓子を準備してもらって、ありがとうございました。わたしも女の子が欲しかったわ～」と、素敵な笑顔で話して下さっています。

■グループホームみやぎの杜：鈴木篤史さん

・2月28日にDSみやぎの杜に異動になる斎藤未来さんのお別れ会を行いました。自身のお子さんもサプライズに駆けつけられました。生後半年からミミズクキッズパートナーに登録して、よくひばりユニットに遊びにきてくれていました。働くママの姿を間近で見ていたのと、お子さんも以前から知っているご利用者とコロナ禍前は交流があり、最後はお子さんのサプライズで締めくくられました。ご利用者も未来さんとのお別れを悲しみ涙する方もいましたが、最後はまた会えることを約束してお別れ会は終了しました。未来さん、長きに渡ってグループホームみやぎの杜を支えてくれて本当にありがとうございました。

■デイホームいずみの杜：福川準さん

・3月3日「ひな祭り」イベントを行いました。当日は、こども園のお子さんが着物を着て下さいました。利用されている方々から「可愛いこと～」などと声を掛けられておりました。また、昼食作りを行い「ちらし寿司」を分担で調理を行い、皆さん美味しく召し上がっておられ季節を感じられるイベントとなりました。



■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今週はまだ、肌寒い日もありましたが皆さんで榴ケ岡天満宮の梅の花を見に出掛けております。「もう梅の花が咲いてるの？」と到着すると境内に近い梅の花が2本満開を迎えようとしている所でした。「小さくてもかわいいねえ。これが梅の花の匂い？」「こんなに木が大きいんですか？すごいですね・・・」と想い想いに春の訪れを感じながら外出を楽しんできました。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・2月28日手作りカレーライス　久しぶりに高橋さんのカレーを皆さんでとても美味しく頂きました。

・3月3日ひな祭り、皆さんで海鮮ちらし、茶わん蒸し、ひなあられ等美味しく召し上がりました。デザートでは、通われている方と一緒にババロアを作り、おやつに甘酒と一緒に召し上がりました。

食の大切さを改めて感じた１日でした。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・今週は、4月に行う予定の花見会場をどこにするかの検討を行っています。利用者さんの意見も参考にしながら、行きたい場所にみんなで出かけ、ゆっくりと桜の花をご覧頂けるように企画・実行を行いたいと考えています。